

## ウラクロシジミ

*Iratsume orsedice orsedice* (Butler)

チョウ目  
LEPIDOPTERA  
シジミチョウ科  
Lycaenidae

### カテゴリー

大分県 準  
環境庁 掲載なし

**選定理由** 祖母・傾山系と九州中央山地が九州における限られた生息地であり、本県の個体数は少ない。森林伐採による生息環境の悪化や、人の採集による個体数の減少が懸念される。

**県内分布** 竹田市, 緒方町

**分布域** 北海道 本州 四国 九州(熊本・大分・宮崎)

**生息環境** 急峻な谷筋や岩稜地に生息し、標高1,000m以上の高地のマンサクが食草。

**現 状** 生息地となっている森林はよく保全されているが、個体数は減少している。

## ゴマシジミ 中国地方・九州亜種

*Maculinea teleius kazamoto*  
(H.Druce)

チョウ目  
LEPIDOPTERA  
シジミチョウ科  
Lycaenidae

### カテゴリー

大分県 IB  
環境庁

**選定理由** 生息地である高原草地は、野焼きの停止による放置や開発によって、生息環境が変わり、絶滅の危険性が高くなっている。

**県内分布** 天瀬町, 玖珠町, 九重町, 別府市, 湯布院町, 庄内町, 久住町

**分布域** 本州 九州(熊本・大分・宮崎)

**生息環境** 火山裾野の高原の明るい草地。中令幼虫まではワレモコウを食草とし、その後、シワクシケアリの巣に運ばれ、アリの幼虫を食べて巣中で成長する。

**現 状** 九重山群の草原では開発ほかによって激減しているが、由布岳一帯では個体数は少ないものの、比較的安定している。

**備 考** 日本産を6亜種に分類する学説によった。国外では南千島、樺太にも分布する。

## ミドリシジミ

*Neozephyrus japonicus* (Murray)

チョウ目  
LEPIDOPTERA  
シジミチョウ科  
Lycaenidae

### カテゴリー

大分県  
環境庁 掲載なし

**選定理由** 九州では九重山群と阿蘇地方の一部にのみ分布する。観光開発と農地化のため、生息地が非常に狭められ、その減少や消滅が懸念される。

**県内分布** 九重町, 庄内町, 久住町, 直入町

**分布域** 北海道 本州 四国 九州(熊本・大分)  
南千島 ,アムール ,ウスリー ,カラフト 朝鮮半島 ,中国東北部

**生息環境** 高原の湿地, 小川沿いのハンノキの林が主な生息地。森林帯のヤマハンノキでも少数が発生。

**現 状** 高原の生息地は環境変化によって非常に狭められ、局所的に残るだけとなっている。